

LMSとSNSの特性(強みと弱み)の比較 表面

		LMS (Learning Management System)	SNS (Social Networking Service)
ISO9126 ユーザビリティ	わかりやすさ:理解性 学生が使い方がわからなくて学習に支障が出たということは起きないでほしいな。	個々のLMSに独特の操作方法や用語があり、ユーザにとっては新たに操作方法を学ぶ必要があるため、面倒である。	様々なSNSの相互の改善によって、操作方法のデファクトスタンダードを採用しており、ユーザにとって操作が容易である
	使いやすさ:運用性 学生から使いにくいという苦情がでたら困るな。	課題や掲示板の場所が決まっているので、知りたい情報を簡単にみつけることができる。しかし、設定をすれば通知がくるものの、毎回、LMSにログインして掲示板を開き、他のユーザーの投稿内容を確認・返信しなければならないので、面倒である。	常に新しい情報がトップにでる時系列表示なので、知りたい情報を見つけることは難しい。 時間がたつと画面上に表示されなくなるので、古い情報を読み込む必要があり、古い情報の検索は難しい。
	使用方法の学習のしやすさ:習得性 使い方について詳しく説明しなくても、自分で調べるなりして使い方は自分で習得をしてほしいな。	ユーザーがSNSよりも圧倒的に少ないため、使用方法の説明が少ないもしくは英語である。	多くのウェブサイトで利用方法について説明が記載されているので、自力で利用方法を学習することができる。
	みためのよさ:魅力性 学生は使いたくなるような見た目ではないと、使ってくれない。魅力的な見た目にしたいな。	元々競合する相手が少なく、見た目のデザインはあまりよくない。	数多くのSNSの中で多くのユーザーを獲得してきたということもあり、ユーザーが日常的に利用したくなるような見た目になっている。
システムとしての機能面	ユーザーの権限 課題提出など活動によっては、教員である自分しか見えないようにしたいな。	ルールを設定することができるので、コース管理者、教師、学生などわけて閲覧制限などができる一方、学生にできることは限られており、教員が設定などを全て行う必要がある。	基本的にルールの設定がないので、教師も学生も同列となるため、閲覧制限などはかけられないが、学習者が主体となった活動を開始しやすい。
	プライバシー・セキュリティ 写真なども含まれるので、プライバシーなどは守りたいな。	企業の広告が収入源となるため、プライバシーの設定は非常にゆるい。そのため、学習者自身がプライバシーポリシーなどを確認・理解をして運用する必要がある。	大学内のサーバに構築されるため、学生個人ではなく、一律で管理される。そのため、プライバシー・セキュリティについては心配しなくてもよい。
	データの保持 来年度の授業や他の教員でも参考にできるように、情報はちゃんと残るようにしておきたい。	基本的にすべてのデータは大学のサーバに保管されるので、データの消失などの心配はない。	全てのデータはそのSNSを運営している企業のサーバに保管されるので、その企業の事情で全てのデータを失うこともある。
他者との交流	学習コミュニティ外からの関与 学生がやっていることは社会の役にも立ちそうだな。ぜひ学外の人からもコメントがほしいな。	LMSは一般的に非公開で大学外の人には閲覧できないので、学習コミュニティ外からの関与は発生しない。	学習グループを公開にすることで、そのグループに所属する学習者の知り合いまで閲覧者が拡張される。また、非公開でもそのSNSを利用している人をグループに容易に追加することができる。
	ユーザー間の交流: 学生同士でも意見をお互いにしてほしいな。義務的にやるのではなく、自発的にやってほしいな。	LMS上では課題の提出・フィードバックなど教師と学習者間の交流は発生しやすいものの、学習者間の交流は発生しにくい。	ユーザーのプロフィールなどの閲覧もできるため、ユーザー間の交流は発生しやすい。